

空間を「ことば」と「手」でつかむ



みんなは、「空間」って聞いたことあるかな？
空間とは、ものがある「場所」や「向き」、「関係」のことなんだよ。



なんだかむずかしいな。
ぼくたちがすんでいる教室や部屋も、空間ってこと？



空間のことをよく知ると、図形の問題もわかりやすくなるでしょ？



そのとおり！空間を上手にとらえる力は、「図形を見ぬく力」の土台なんだ。
今日は「ことば」と「手」を使って空間をとらえる力をみがいていくよ。

§ 1 空間をとらえる 3 つのことば

空間の学習をするときに大切な、3 つのキーワードがあります。

位置	前・後ろ・上・下・右・左など、「どこにあるか」
向き	時計まわり・反時計まわり・○○のほうを向くなど、 「どちらを向いているか」
関係	平行・直角・ななめ・となり・中・外など、「どんな関係か」

§ 2 ことばと手で空間をつかむ

ワーク 1 体で動いてみよう



まずは体で「空間ことば」を体験してみよう！

- ① 右を向いて、前に 3 歩進んでみよう
- ② 左を向いて、机の下にある箱をさがそう
- ③ 黒板の上・右・下にあるものを言ってみよう

(ポイント) 体を動かしながら言うと、頭の中で空間がイメージしやすくなります。

ワーク2 言葉で伝えるれんしゅう

宝さがしです。1人が「かくす人」、1人が「さがす人」になって、次のように「言葉だけ」で場所を伝えてみよう。



本はつくえの右の上のたなの、おくから2番目のところにあるよ！



あった！場所をことばで伝えるっておもしろいね！」

(ポイント)「どこ?」「どのくらい?」をくわしく伝えることが大切です。

ワーク3 手であらわすれんしゅう

図形カードやつみ木を用意し、手の動きだけで位置・向き・関係を伝えてみよう。

例① 手で「平行」のポーズをつくる

例② 指で「直角」の形をつくる

例③ 2本のえんぴつで「交わる」「交わらない」を示す

§3 まとめ・ふりかえり



今日の学びで、「空間」をとらえるときにはことばと手が大きな力になるって分かったね。生活の中の空間をことばで言えると、図形の世界もどんどん広がっていくよ。

Q1 「空間ことば」にはどんなものがあったかな？

Q2 「向き」を表すことばには何があるかな？

Q3 「平行」と「直角」は、空間のどんな関係をあらわしているかな？
